⑹ Contact point for the notice : Masahiro Osawa, Faculty of Medicine Accounting Division, University of Yamanashi, 1110 Simokato Chuo-shi Yamanashi 409―3898 Japan, TEL 055―273―9224

## 資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

平成 22 年４月 21 日

国立大学法人大分大学事務局長　岩切　平治

◎調達機関番号　415　◎所在地番号　44

**○第２号**

１　調達内容

⑴　品目分類番号　14

⑵　導入計画物品及び数量　基盤情報システム一式

⑶　調達方法　借入

⑷　導入予定時期　平成23年度４月以降

⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件

①　基盤情報システムは、学内の高度な情報環境を提供するための基盤となるシステムであり、次のものから構成されること。A. 教育研究及び学術情報収集・提供のための高性能コンピュータシステム　B. 電子ジャーナル、e-ブックにも対応できる図書館情報システム　C. マルチメディアを利用した情報教育のためのコンピュータシステム　D. 学内ＬＡＮと接続する高速大容量ネットワークシステム

②　最新の技術に裏付けられたアーキテクチャを有し、ここ当面の技術動向に合致した先進性の高いオープンシステムであること。

③　機器が頑健で信頼性が高く、消費電力や発熱量が小さいこと。

④　システムとして常に良好な状態で稼働し、外部からの脅威に対し安全性が確保できるよう、十分な保守支援体制を備えていること。

２　資料及びコメントの提供方法　上記１⑵の物品に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件等に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。

⑴　資料等の提供期限　平成22年５月24日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）

⑵　提供先　〒870―1192 大分県大分市大字旦野原700番地　大分大学財務部調達室調達第三係　甲斐　伸治　電話097―554―7945

３　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。

⑴　交付期間　平成22年４月21日から平成22年５月24日まで。

⑵　交付場所　上記２⑵に同じ。

４　説明会の開催　本公表に基づく導入説明会を開催する。

⑴　開催日時　平成22年４月28日15時00分

⑵　開催場所　大分大学事務局第一会議室

５　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。

６　Summary

⑴　Classification of the products to be procured : 14

⑵　Nature and quantity of the products to be rent : A computer and communication system 1 Set

⑶　Type of the procurement : Rent

⑷　Basic requirements of the procurement :

①　The computer and communication system provides advanced information services within the campus. It should consist of the followings : A. High-performance computer systems for research, education, academic information services for students, faculty members and staffs and for public information services. B. Library system to treat ordinary library tasks and digital information such as e-journal and e-book. C. Computer systems for education with e-learning system and multimedia teaching and learning facilities. D. High-speed network to efficiently connect all the computers of the system and the existing campus LAN.

②　It should be based on up-to-date and open architectures, and state-of-the-art information technologies.

③　It should be reliable and conscious of space and power saving.

④　The sufficient maintenance and monitoring should be provided for the system not to stop and to be protected from attacks.

⑸　Time limit for the submission of the requested material : 5 : 00 PM 24, May, 2010

⑹　Contact point for the notice : Shinji Kai, Procurement Section, Accounting Division, Oita University, 700 Oaza Dannoharu Oita-shi 870―1192 Japan, TEL 097―554―7945

## 資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

平成 22 年４月 21 日

国立大学法人鹿児島大学

契約担当役事務局長　盛本　　力

◎調達機関番号　415　◎所在地番号　46

**○第２号**

１　調達内容

⑴　品目分類番号　22、31

⑵　導入計画物品及び数量

血液検査システム　一式

⑶　調達方法　購入等

⑷　導入予定時期

平成22年度３月以降

⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件

A　上位からの検査依頼に従い、迅速に分析できること。

B　検査データは、既存画像Webサーバ（MIDweb）にて参照できること。

C　検査データ確認支援、再検査判断支援などの機能を柔軟に構築できること。

D　本システムの運営に充分なセキュリティが確保できること。

E　分析装置は可能な限り既存総合臨床検査システムにオンライン接続すること。

F　オンライン接続できない分析装置の検査データは媒体を介して既存総合臨床検査システムへ取り込めること。

２　資料及びコメントの提供方法　上記１⑵の物品に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件等に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。

⑴　資料等の提供期限　平成22年６月８日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）

⑵　提供先　〒890―8520 鹿児島市桜ケ丘８―35―１　鹿児島大学医学部・歯学部附属病院管理課調達係　茶円　茂博　電話099―275―5045

３　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。

⑴　交付期間　平成22年４月21日から平成22年６月８日まで。

⑵　交付場所　上記２⑵に同じ。

４　説明会の開催　本公表に基づく導入説明会を開催する。

⑴　開催日時　平成22年５月７日15時00分

⑵　開催場所　鹿児島大学医学部・歯学部附属病院管理棟第三会議室

５　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。

６　Summary

⑴　Classification of the products to be procured : 22, 31

⑵　Nature and quantity of the products to be purchased : Systematic Hematological Examination System 1 Set

⑶　Type of the procurement : Purchase

⑷　Basic requirements of the procurement :

A　Based on a test order from the upper system, the sample measurement should be performed immediately.

B　The test data should be reviewed on the existing image Web server (MIDweb).

C　Various functions should be flexibly established, such as test-data confirmation support and re-examination judgment support.

D　Reliable security system should be assured, enough to manage this system.

E　Analyzers should be online-connected to the existing total laboratory testing system, wherever possible.

F　The test data of the analyzers, which cannot be online-connected, should be imported to the existing total laboratory testing system via some media.

⑸　Time limit for the submission of the requested material : 5 : 00 PM 8, June, 2010